



令和 7 年 4 月 23 日

4 月号

発行: 宮古北高等学校

令和七年度 入学式

入学おめでとうございます

四月九日(水)、小雨が混じる少し肌寒い天候の中、五名のご来賓のご臨席を賜り、令和七年度入学式が行われました。希望に満ちあふれた新入生二十一名が真新しい制服に身を包み、ちよつぱり緊張したような、少しはにかんだような表情で式に臨みました。新入生代表宣誓では、山崎 桃李さんが「今まで以上に自分の行動に責任を持つ」「皆が思いやりを持ち、助け合いながら、何事も最後まで諦めずにやり遂げる」「二人の人間として自立できるように確かな成長を目指す」と力強く誓ってくれました。



新任式・始業式

四月八日(火) 新任式が行われ、八名の先生方をお迎えしました。齊藤孝明副校長(福岡高校定時制、保健体育)、長澤 孝征事務長(宮古高校兼務)、高岩 礼子教諭(黒沢尻工業高校、数学)、保科 光亨教諭(盛岡北高校、英語、似内 若葉講師(保健体育)、深渡 晶子主任主査(久慈東高校)、應家 恵事務補助、細田 富士子講師(岩泉高校兼務)。ようこそ宮古北高校へ。三浦校長の下、教職員が一丸となって生徒の皆さんの成長をサポートしていきましょう。

続いて行われた始業式では校長先生から三つのことについてお話がありました。本校の校訓、誠実 剛健 進取 について、本校の教育目標、岩手、日本、世界に貢献する人材の育成 について、最後に、学校は皆さんが笑いに来るところ、でした。

生徒の皆さん、校訓の理念に沿い、教育目標を達成するために、たくさん笑いに学校へ登校し、宮北ライフを満喫しましょう。



新入生の皆さん、ようこそ宮古北高校へ。皆さんは九年間の義務教育を終え、自らの意思で本校への進学という道を選択しました。是非、高校三年間を充実したものにしてください。最初は戸惑う事も多くあると思いますが、一日も早く高校生活に慣れ、勉強や部活、ボランティア活動等に積極的に取り組んでください。新入生を迎えパワーアップした宮北生の活躍が楽しみです。

What is 宮北の森

4月18日(金)に今年度最初の宮北の森が開催されました。宮北の森とは、月に1度生徒主体で進める集会・活動のことです。今回は、生徒会執行部から宮北の森の説明と今年の生徒会スローガンの募集について、応援委員会から宮北生伝統継承指導についての説明がそれぞれされました。スローガンについては、過去のものを紹介していただき、校歌紹介では、本校独自の動作を応援委員から指導していただきました。新入生にとって、宮北の森についての理解が深まったように思いました。



対面式

四月九日(水) 令和七年度対面式が行われました。新入生は初めて先輩方と対面し、かなり緊張していました。それでも一人ひとりが一生懸命挨拶をしてくれました。また、新入生代表挨拶を菊地 くるみさんが行い、先輩方への感謝と、早く宮北生になりたいという意思表示が示されました。先輩方の学校生活をわかりやすく、さらには自分たちの経験も交えて新入生の緊張を和らげようと、精一杯説明をしている姿が印象的でした。

お知らせ

学校ウェブページ、ノートのページへのアクセスがしやすくなるようQRコードを載せます。ノートのページでは主に行事での様子を写真中心にお伝えしていきます。ぜひアクセスしてください。

ノートのページ



学校ウェブページ



宮古北高校では、体験学習や探究活動を推進し、思考力・判断力の育成に努めており、また、職業理解を深めるフィールドワークや、地域での農業体験を行うなど、学校全体でキャリア教育に取り組んでいます。学校規模としては大きくはありませんが、生徒が主体となり力を合わせて教育活動を展開しています。小さくてもキラリと光る、地域密着型の学校を目指してまいりますので、今後ともご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。令和七年四月二十三日 文責 宮古北高校副校長